

略号:GP-CS (cleaning sebum)

# 手あか汚れ・皮脂軟化対策水性内部用塗料

ホルムアルデヒド放散等級	
F☆☆☆☆	
防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

# オーデノータック®

## 手の触れるところに適した水性内部用塗料

### 特長

- 1** 人の皮脂による「手あか汚れ」「はがれ」に強い塗料です。
- 2** 粘着感がありません(ノータック)。水性塗料としては最高レベルです。
- 3** 水性塗料[F☆☆☆☆]で有害重金属(鉛・クロムなど)を配合しないので、環境・健康にやさしい塗料です。
- 4** 屋内塗装に適した落ち着いた仕上がり肌を得られます。
- 5** 防かび機能があり、オプションで抗菌機能も付与できます。
- 6** 各種水性さび止めとの組み合わせで、オール水性の鉄部仕様が組めます。

### 皮脂による汚れ、はがれに強いオーデノータック!

#### 皮脂軟化のメカニズム

- ① 手の接触により、手の脂(皮脂)が塗膜に付着。皮脂が徐々に塗膜内に浸透し、塗膜が軟化する。
- ② 軟化した塗膜は汚れが付きやすく、手の接触が増えると徐々に黒ずみ汚れが目立ち始める。
- ③ さらに物理的接触が繰り返されることで、軟化した塗膜がはがれる。

#### オーデノータックの耐皮脂性

エマルション樹脂内に導入した特殊モノマーの効果で、皮脂がなじみにくく、また浸透しにくい塗膜になります。

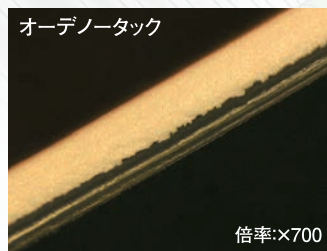
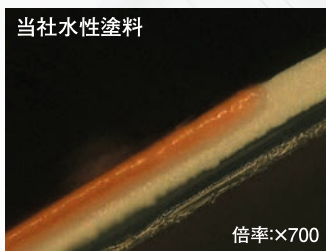
#### タックとは

粘着性。物質の接着表面に生じるネバツキのこと。主に塗料、接着業界で使用される専門用語です。

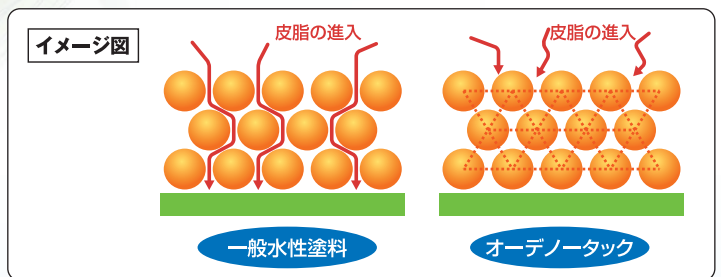
### 皮脂軟化対策のメカニズム

#### 皮脂浸透試験

- 塗膜乾燥時間:室温約1ヶ月
- サンプル液:擬似皮脂(オレイン酸と中性油の混合液。わかりやすく赤色に着色しています)
- スポット時間:4時間
- 試験方法:一定時間乾燥させた塗膜にサンプル液をスポット滴下し、4時間後、ウエスでサンプル液を拭き取り、カッターナイフで切った断面をマイクロスコープにて浸透状態を観察しました。



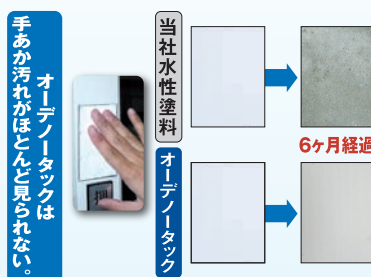
オーデノータックは一般水性塗料に比べ油分が塗膜に浸透していないことがわかります。



### 塗膜性能

#### 〈テストピースによる 皮脂軟化比較試験〉

鉄扉の人の手が触れやすい個所にテストピースを貼り付け、経過観察した。



### 製品体系

製品名	容量	色相	つや
オーデノータック	15kg・3kg	各色	つや有り5分つや有り3分つや有り

### 用途

オフィスビル、公共施設(病院・学校・宿泊施設など)、戸建て、マンション、賃貸住宅、工場・倉庫、店舗などの建物内部の鉄部・木部(ドア枠・扉・手すりなど)。

# 標準塗装仕様

## 塗装仕様〈新設〉手あか汚れ・皮脂軟化対策水性内部用塗料

鉄部	工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
	素地調整	電動工具を主体とし、ISO St3まで除錆する。溶接部の著しい凸部は、グラインダーで平滑にしてから電動工具で除錆する。						
下塗り	水性ハイボンプライマー*	1	0.13~0.16	4時間以上7日以内	水道水	0~5	はけ・ウールローラー	
上塗り	オーデノータック	2	0.10~0.15	2時間以上	水道水	5~10	はけ・ウールローラー	

木部	工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
	素地調整	木部を傷つけないように除去し、油類は溶剤などで拭き取る。ヤニは削り取りまたは、電気ゴテ焼きの上、溶剤で拭き取る。P120~220研磨紙で研磨後、水拭きして研磨カスを除去する。著しいヤニ部はセラックニスで部分補修塗装する。穴埋めが必要な場合は、パテで穴埋めを行う。						
下塗り	ニッペ 水性ウッドベースII	1	0.15~0.20	2時間以上	水道水	0~10	はけ・ウールローラー	
研磨紙すり	研磨が必要な場合は、P220~240研磨紙で研磨後、水拭きして研磨カスを除去する。							
上塗り	オーデノータック	2	0.10~0.15	2時間以上	水道水	5~10	はけ・ウールローラー	

## 塗装仕様〈改修〉手あか汚れ・皮脂軟化対策水性内部用塗料

鉄部	工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
	下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去する。油脂分、水分は溶剤拭きを行い清浄な面とする。						
下塗り	水性ハイボンプライマー*	1	0.13~0.16	4時間以上7日以内	水道水	0~5	はけ・ウールローラー	
上塗り	オーデノータック	2	0.10~0.15	2時間以上	水道水	5~10	はけ・ウールローラー	

### 下地の状態が良好な場合

木鉄部	工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
	下地調整	油類は溶剤で拭き取る。P120~220研磨紙で十分に研磨後、水拭きして研磨カスを除去する。ヤニ部はセラックニスで部分補修しておく。						
上塗り	オーデノータック	2	0.10~0.15	2時間以上	水道水	5~10	はけ・ウールローラー	

\*1 液水性デクロ・オーデハイボンプライマーも、使用量0.13~0.16で使用可能です。

●上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

## ■施工上の要点・注意事項(詳細な内容については各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- 本品のつや調整品は、ほかの塗料に比べ若干低めのつやに仕上がるように設計されておりますので、事前に見本板で仕上がりを確認ください。
- 濃彩色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
- 脱オキシムタイプのシリコン系シーリング材を使用する周辺部位に本品を塗装すると塗膜が変色する恐れがありますので、ご使用は避けてください。ご使用のシーリング材については、各シーリング材メーカーにお問い合わせください。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 防塵・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水分成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じるなどありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はけが固まったりタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 日塗膜に発生した曇りかびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着菌をおこすおそれがあります。
- 内部塗り替えにおいて旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 既存塗膜はく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 塩化ビニールクロスの上塗り塗料に、つやあり塗料のご使用は避けてください(可塑剤のブリードにより、粘着の可能性があります)。塩化ビニールクロスの上塗り塗料としては、EPなどつや消し塗料をご使用ください。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などものが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- スチールドア枠回りなどシーリング材との接触が起こる部分への塗装は避けてください。可塑剤の移行などにより塗膜が軟化、はく離し、シーリング材の機能を損なう可能性があります。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 下塗りに劣化したイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に劣化した色相では、色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があります。そのため、事前に試験施工塗装等でご確認ください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色を塗装する際には、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認ください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でのご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩化ビニール鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かき混ぜ機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 開栓後は皮張りがかすやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

**警告**



**危険有害性情報**

強い眼刺激

**安全衛生上の注意事項 オーデノータック 白**

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 口をすずいでください。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 吸入した場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合は: 医師の診断/手当てを受けてください。
- 施設内に保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。

**横倒禁止**

- 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
- 内容物/容器を缶/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

\* 上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。  
**■製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。**  
**■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。**

- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- ©Copyright 2019 NIPPON PAINT Co.,LTD. All right reserved.
- 「オーデノータック」登録第5135219号は、日本ペイントホールディングス株式会社および日本ペイント株式会社が権利者の登録商標です。
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

# 日本ペイント株式会社

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 北海道支店 ☎011-370-3101   | 近畿支店 ☎06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎022-232-6712    | 中国支店 ☎082-281-2180 |
| 関東支店 ☎03-5479-3614    | 四国支店 ☎0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 | 九州支店 ☎092-751-9861 |
| 中部支店 ☎052-461-1960    |                    |

カタログNo.  
 NP-X041  
 TY190603T  
 2019年6月現在